

氏名	鈴木 貴子	部署	作業療法学科	職名	准教授
研究分野	身体機能領域作業療法, 運動学習, 身体介助・誘導				
学位	博士(健康科学)				
学歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科、 2012年筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程生涯発達専攻学リハビリテーションコース 2023年3月埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士後期課程修了				
経歴	2009年~埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科助教 2020年~埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科准教授 2023年~東京都立大学客員准教授, 客員研究員				
所属学会(役職)	日本作業療法士協会、日本作業療法研究学会、日本リハビリテーション連携科学学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本臨床神経生理学会、モーターコントロール研究会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	あなたは物品を操作する手の動作を分析できますか?: 手本位が解釈できる『鎌倉方式』の理解と応用	共著	あり	三輪書店		中田真由美, 鈴木貴子	2024.4
2	シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ 基礎運動学テキスト	共著	あり	南江堂		細田多穂(監修), 藤縄理, 濱口豊太, 金村尚彦, 阿南雅也(編集), 鈴木貴子 他(分担執筆)	2025.3
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Action observation intervention using three-dimensional movies improves the usability of hands with distal radius fractures in daily life-A nonrandomized controlled trial in women.	共著	あり	○	PloS one 19(10) e029430	Kengo Usuki, Hiroaki Ueda, Toshiya Yamaguchi, <u>Takako Suzuki</u> , Toyohiro Hamaguchi	2024
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	Brain activity signal sources during reinforcement: a neurobehavioral assessment of operant conditioning.	共同	Association for Behavior Analysis International's 50th Annual Convention, Philadelphia		○Suzuki M, Fukasawa T, <u>Suzuki T</u> , Yamamoto J		2024.5
2	Estimating joint angles during daily activities using a combination of ready-made systems: potential applications in rehabilitation.	共同	International Symposium on Community-centric Systems and Robots 2025 (symposium) (Tokyo)		○Suzuki M., Matsumoto T., Saito K., Iso N., <u>Suzuki T.</u> , Okabe T., Tsuji A., Cho K., Yamamoto J.		2025.2.
3	Virtual reality system for real-time visual prompt fading in rehabilitation: development and validation study.	共同	International Symposium on Community-centric Systems and Robots 2025 (symposium) (Tokyo)		○Iso N., Suzuki M., Okabe T., Cho K., Saito K., <u>Suzuki T.</u> , Matsumoto T., Arihara N., Yamamoto J.		2025.2.
4	Unraveling sleep-behavior Dynamics: predictive modeling with wearable devices.	共同	International Symposium on Community-centric Systems and Robots 2025 (symposium) (Tokyo)		○Okabe T., Suzuki M., Saito K., Iso N., Cho K., Matsumoto T., <u>Suzuki T.</u> , Yamamoto J.		2025.2.

5	Brain activity related to discrepancies between physical guidance: trajectories of patients and therapists.	共同	International Symposium on Community-centric Systems and Robots 2025 (symposium) (Tokyo)	○ <u>Suzuki T.</u> , Suzuki M., Cho K., Matsumoto T., Saito K., Iso N., Okabe T., Yamamoto J.	2025.2.
6	生活動作の直接的計測：Daily Motion Measurement System (DMMS) の構築	共同	行動リハビリテーション研究会 第 13 回年次大会（大阪）	○鈴木誠, 松本卓也, 斎藤和夫, 磯直樹, <u>鈴木貴子</u> , 岡部拓大, 辻愛里, 趙吉春, 山本淳一	2025.3
7	字の上手さの評価の相対的変動	共同	行動リハビリテーション研究会 第 13 回年次大会（大阪）	○ <u>鈴木貴子</u> , 鈴木誠, 濱口豊太, 山本淳一	2025.3
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤研究C）		最適運動軌跡と脳活動：目標の明示化による練習効果	研究代表者	2020-2025.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤研究C）		身体誘導における患者とセラピストの脳活動相互作用：運動学習を促進する新しい練習法	研究代表者	2024.4-2028.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	作業療法運動学	○	9	上肢の運動学・歩行について講義を行った	
2	身体機能作業療法学	○	4	身体機能作業療法学の概論および運動器疾患について講義を行った	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし				
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	作業療法運動学実習	○	11	作業療法士として必要となる運動学の知識を、臨床のエピソードを交えながら解説し、学生が実際に体験して、身体の運動を実感できる機会を増やすよう努めた。	
2	身体機能作業療法学実習（運動器）	○	19	身体機能作業療法領域における基礎理論と運動器疾患に対する作業療法について講義、レポート指導等を行った	
3	ヒューマンケア体験実習		15	1学年、2チームを担当し、円滑に実習が進み学びを深められるようフィードバック、支援を行った	
4	身体機能作業療法評価学実習		3	主に実技試験の試験官、実技指導等を行った。	
5	臨地体験実習（身体機能）		2025.2～2025.3	実習地訪問や個別相談を受け、円滑な実習のための支援を行った。セミナーにおいて評価を担当した	
6	臨地体験実習（精神機能）		2024.8～2024.9	実習地訪問や個別相談を受け、円滑な実習の支援を行った。	
7	臨地総合実習（身体機能）		2024.4～2024.7	施設訪問を行い、施設間との調整、学生指導および状況の把握などに務めた	
8	臨地総合実習（精神機能）		2024.4～2024.7	施設訪問を行い、施設間との調整、学生指導および状況の把握などに務めた	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		2024.6～2025.3	主指導 8名	副指導 名

(5) その他			
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	学年担当	2024.4～2025.3	4年次の学年担当を務めた。臨時の個別面談、学生指導・支援を行った
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	高校出張講座	館林女子高校	講師「手の不思議」 2024.11
2	厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会 (埼玉県講習会)	日本作業療法士協会	講師、ファシリテーター 2024.7, 10
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	品川区立心身障害者福祉会館 品川区旗の台障害児者相談 支援センター	高次脳機能障害専任相談員	2024.4～2025.3
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学生支援	4年学年担当	2024.4～2025.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス実施（分担）	2024.8
3	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員会	2024.4～2025.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	カリキュラム検討部会	2024.4～2025.3
5	学科等における委員等	新カリキュラム検討チーム	2024.4～2025.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		